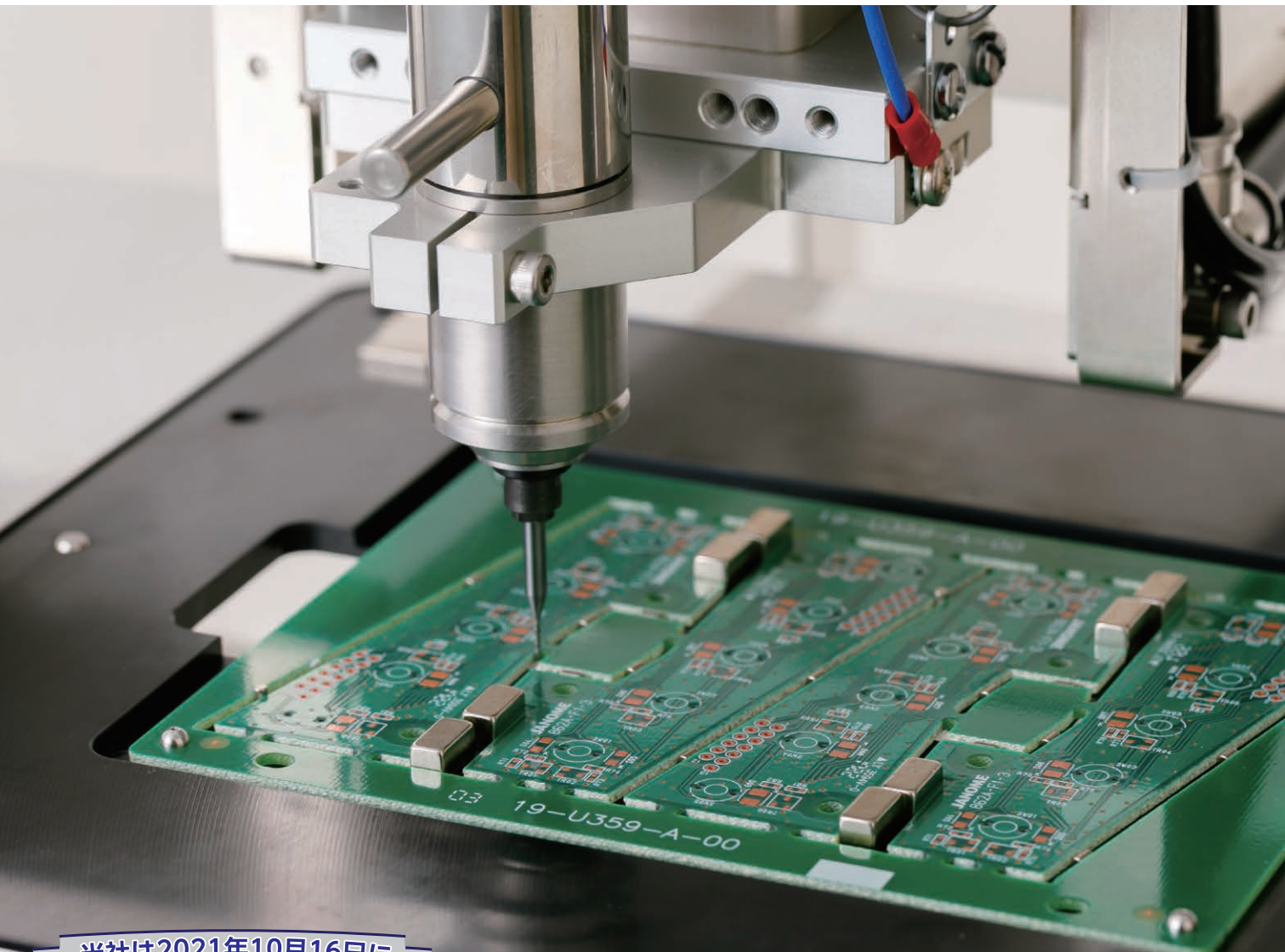


株主通信

第94期第2四半期

(2019年4月1日～2019年9月30日)

JANOME



当社は2021年10月16日に
創業**100**周年を迎えます

蛇の目マシン工業株式会社

証券コード：6445

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第94期第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、堅調な個人消費にけん引された米国や雇用の増加が続く欧州を中心に景気は緩やかに回復いたしました。一方で、未だ収束の兆しが見えない米中貿易摩擦問題等により、世界貿易は減少に転じるなど、景気の下振れリスクは解消されず、先行き不透明感は依然として残りました。

わが国経済におきましては、緩やかな回復基調を維持したものの、不確実性が高まる世界経済を背景に輸出環境の悪化が続ぎ、製造業を中心に景気減速懸念が強まりました。

このような中、当社グループにおきましては、家庭用ミシン及び産業機器において新製品を投入し、各種展示会等を通じて需要喚起に努めました。また、中期経営計画で策定した各種施策の実現に向け、全社一丸となって取り組んでおります。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、**当第2四半期の売上高は17,301百万円(前年同期比1,887百万円減)、営業利益は317百万円(前年同期比140百万円減)、経常利益は269百万円(前年同期比372百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円(前年同期比310百万円減)**となりました。

中間配当につきましては、株主のみなさまには誠に申し訳ございませんが、無配とさせていただきます。なお、期末配当は1株あたり15円を予定しております。

当社グループといたしましては、収益力の高いグローバル企業を目指し、全社一丸となって企業価値向上に向けて努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目次

- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概要
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 6 会社概要 他



代表取締役会長CEO

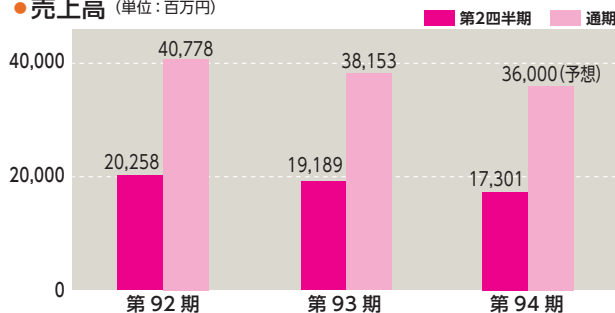
代表取締役社長COO

大場 道夫

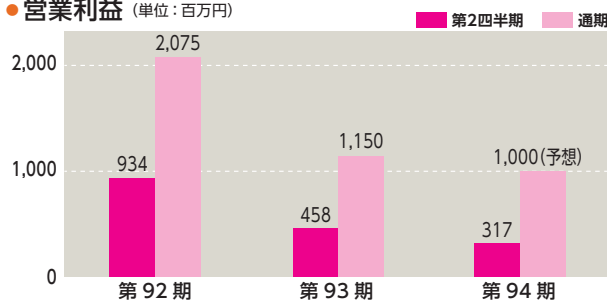
齋藤 真

連結決算ハイライト

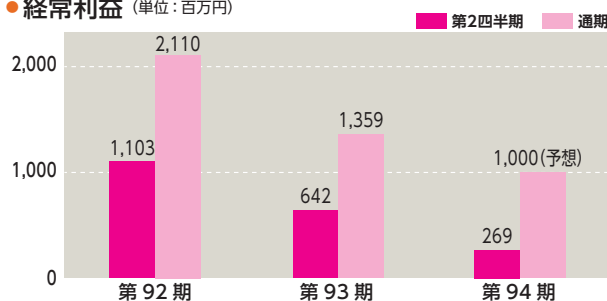
●売上高 (単位: 百万円)



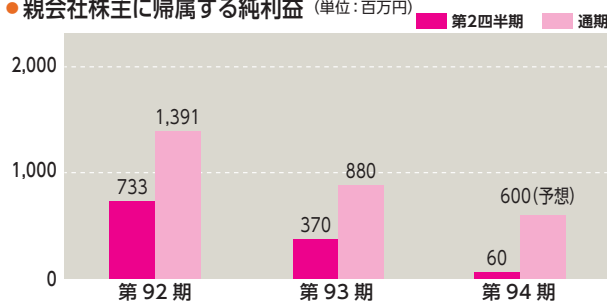
●営業利益 (単位: 百万円)



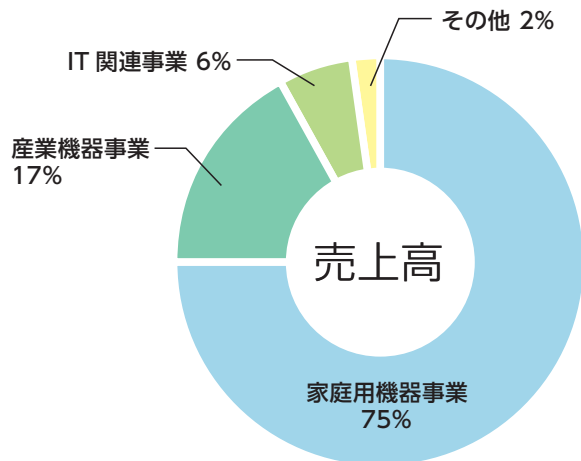
●経常利益 (単位: 百万円)



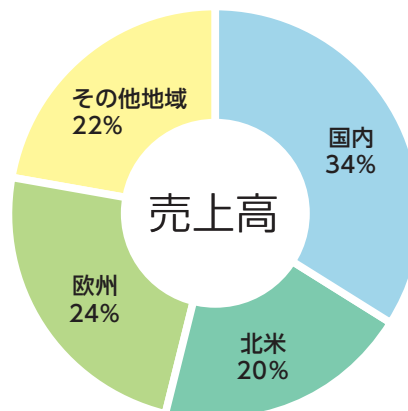
●親会社株主に帰属する純利益 (単位: 百万円)



●売上構成比



●売上高地域別内訳



※詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。
https://www.janome.co.jp/ir/ir_financial.html

家庭用機器事業

家庭用機器事業におきましては、北米ではディーラーを対象とした新製品発表会「インスティチュートインパクト2019」を4年ぶりに開催し、販売の更なる強化に努めました。また、同インスティチュートで発表した海外向け新製品2機種を中心に需要喚起に努めたことで、北米市場向け販売は一定の成果を残しました。

一方で経済の先行きに不確実性が残る欧州市場や米国の経済制裁により波及的影響を受けた新興国市場では依然として苦戦が続きました。

その結果、海外・国内ミシンの販売台数は64万台（前年同期比10万台減）、家庭用機器事業全体の売上高は13,029百万円（前年同期比1,034百万円減）、営業利益は421百万円（前年同期比159百万円増）となりました。

事業概要

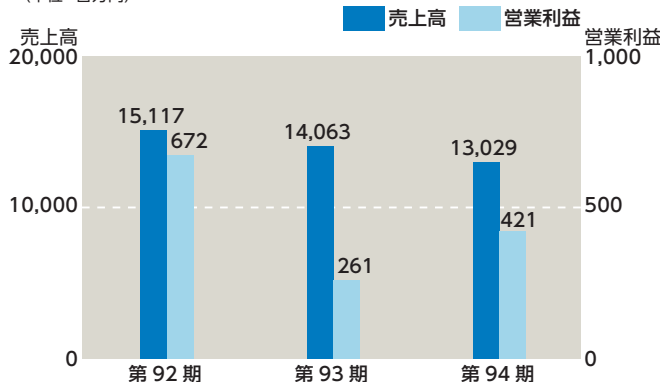
ミシン・24時間風呂等の家庭用機器の製造・販売



Continental M7 Professional (海外向け)

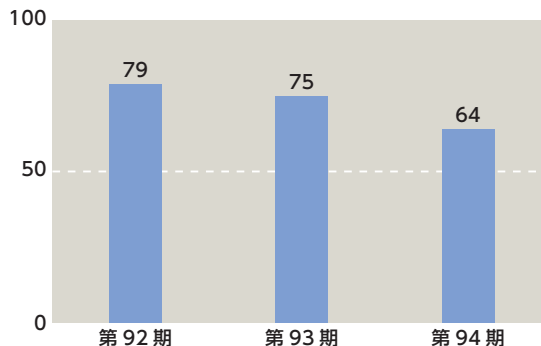
売上高・営業利益（第2四半期）

(単位：百万円)



ミシン販売台数推移（第2四半期）

(単位：万台)



※共通費の各事業セグメントへの配賦基準を見直したことにより、第92期以降の各事業セグメントの営業利益の算定方法を変更しております。

産業機器事業

事業概要

卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

産業機器事業におきましては、新集塵方式基板分割ロボットなど、顧客ニーズに対応した新製品を投入し、展示会への出展等を通じて需要喚起に注力するとともに、ブランド力の強化及び知名度の更なる向上に努めました。また、有望市場であるメキシコやインドへ積極的な営業活動を展開し、販路拡大に注力いたしました。

しかしながら、依然として米中貿易摩擦の影響は根強く、中国国内での設備投資の減退を受け、卓上ロボット・サーボプレスの販売ならびにダイカスト鋳造関連事業は低調に推移いたしました。

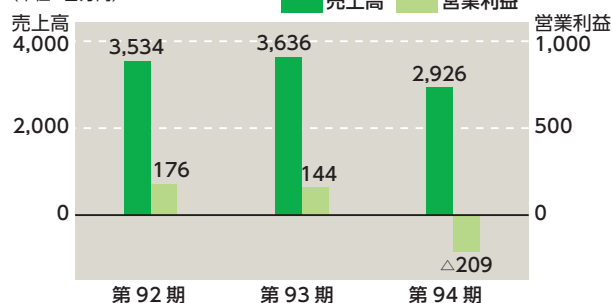
その結果、**産業機器事業全体の売上高は2,926百万円（前年同期比710百万円減）、営業損失は209百万円（前年同期は144百万円の営業利益）**となりました。



サーボプレス「JPシリーズ5」

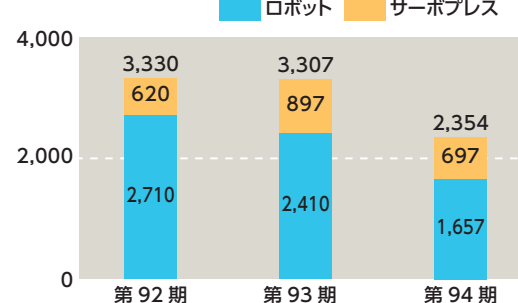
売上高・営業利益（第2四半期）

（単位：百万円）



卓上ロボット・サーボプレス販売台数推移（第2四半期）

（単位：台）



IT関連事業

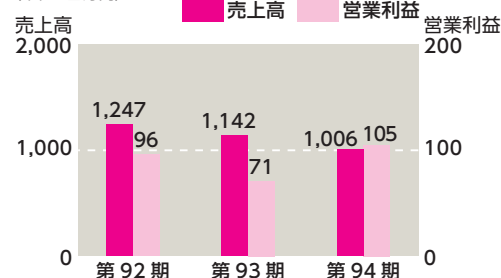
事業概要

ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業の**売上高は1,006百万円（前年同期比136百万円減）、営業利益は105百万円（前年同期比33百万円増）**となりました。

売上高・営業利益（第2四半期）

（単位：百万円）



連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期	前 期
	2019年9月30日	2019年3月31日
資産の部		
流動資産	22,204	22,689
固定資産	27,726	27,967
① 資産合計	49,930	50,657
負債の部		
流動負債	16,331	16,363
固定負債	8,371	8,420
② 負債合計	24,702	24,783
純資産の部		
株主資本	18,621	18,851
その他の包括利益累計額	5,780	6,169
非支配株主持分	826	852
③ 純資産合計	25,228	25,873
負債純資産合計	49,930	50,657

POINT

①資産の部

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前期末に比べ485百万円減少いたしました。

固定資産は、有形及び無形固定資産の減価償却等により、前期末に比べ240百万円減少いたしました。

②負債の部

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加等により、前期末に比べ31百万円減少いたしました。

固定負債は、退職給付に係る負債の減少等により、前期末に比べ49百万円減少いたしました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期	前年同期
	2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで	2018年 4月 1日から 2018年 9月30日まで
売上高	17,301	19,189
売上原価	10,329	11,811
売上総利益	6,971	7,377
販売費及び一般管理費	6,654	6,919
営業利益	317	458
営業外収益	118	277
営業外費用	166	92
経常利益	269	642
特別利益	0	28
特別損失	0	6
税金等調整前四半期純利益	269	665
法人税等	223	291
非支配株主に帰属する四半期純利益	△14	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	370

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期
	2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△646
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△392
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	812
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,739

③純資産の部

利益剰余金、為替換算調整勘定の減少等により、前期末に比べ645百万円減少いたしました。

④営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少等により、646百万円の資金の減少となりました。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

設備、金型等の有形固定資産の取得による支出等により、392百万円の資金の減少となりました。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加等により、812百万円の資金の増加となりました。

◆「JANOME REPORT 2019」の発行について◆

当社グループは、2015年より毎年「環境報告書」の発行を通じて、社会や環境に対する取り組みをステークホルダーのみなさまにご報告してまいりました。

この度、内容の更なる充実を図り、当社グループに対する理解をより深めていただくため、環境報告書に代わり「JANOME REPORT 2019」を新たに発行することといたしました。(2019年12月下旬発行予定)

「JANOME REPORT」では、財務情報と非財務情報をまとめ、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた事業戦略やESG（環境、社会、ガバナンス）情報などを詳しくご紹介する予定です。

なお、これまで株主通信に掲載しておりました当社の取り組み等をご紹介する“トピックス”につきましては、「JANOME REPORT」に取り入れる予定です。

※発行に際しましては、当社ウェブサイト (<https://www.janome.co.jp/>) でご案内させていただきます。

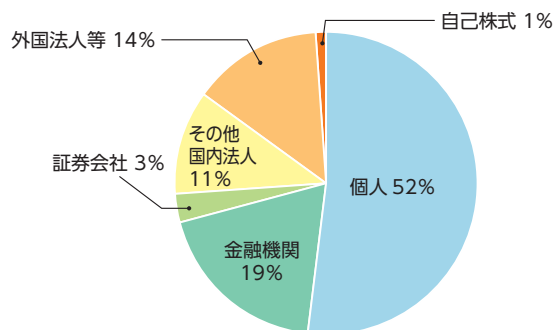
●会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	蛇の目シン工業株式会社
英語表記	JANOME SEWING MACHINE CO., LTD.
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921 (大正10) 年 10 月
設立	1950 (昭和25) 年 6 月
資本金	113 億 7,300 万円
連結従業員数	2,979 名

●株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行済株式総数	19,521,444 株
株主総数	12,223 名 (前期末比 149 名減)

株主構成比率 (所有株式数ベース)



● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で
行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載の URL <https://www.janome.co.jp/>

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

表紙について：新集塵方式基板分割ロボット「JR3303EBV」

- ◇電子機器などに搭載する基板を切断している様子です。
下方から切粉を吸引することで、より効率的な吸引を実現しました。



蛇の目マシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL：042(661)3071

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK